

第10回 東京都在宅医療推進フォーラム

2019年

11月3日(日祝)

14:00~18:00

[受付 13:30~]

会場

東京都医師会館 講堂

東京都千代田区神田駿河台2-5

●参加対象

東京都内で在宅医療・看護・介護に携わる
専門職の方、及び関心の高い市民の方

参加費
無料

ケアの質を考える

【第一部】基調提言

『ケアの質とは何か?』

【演者】

新田 國夫 氏 [東京都在宅療養支援診療所連絡会 会長]

西田 伸一 氏 [東京都医師会 理事]

【座長】

鈴木 央 氏 [東京都在宅療養支援診療所連絡会 副会長]

【第二部】ワールドカフェ

『ケアの質を考える』

【ファシリテーター】

田中 千賀子 氏 [東京都訪問看護ステーション協会 副会長]

★このフォーラムは、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成によります。

●主催：一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会/東京都在宅療養支援診療所連絡会 ブロックフォーラム実行委員会
●共催：公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団/一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会/一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 南関東ブロック/特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会 ●後援：公益社団法人 東京都医師会/公益社団法人 東京都歯科医師会/公益社団法人 東京都看護協会/公益社団法人 東京都薬剤師会

東京都在宅療養支援診療所連絡会 「ブロックフォーラム実行委員会」

●鈴木内科医院 〒143-0023 東京都大田区山王3-29-1

●実行委員会事務局 TEL 070-5020-4108 FAX 03-3235-7330 e-mail tokyo.zaitaku.forum@gmail.com

ケアの質を考える

鈴木内科医院
鈴木 央 [東京都在宅療養診療所連絡会副会長]

東京都で在宅医療を選択することは、確実にハードルが下がったと思われま。都内のどの地域でも在宅医療を行う診療所を探せば、在宅医療を受けられるようになってきています。

しかし、課題は解決しているのでしょうか？

在宅療養支援診療所から提出された患者数や看取り数のデータを見ると、たくさんの訪問患者を持ちながらも、看取り数が伸びていない医療機関を見ることがあります。まだ何かできることがあるのでしょうか。

「夜間の発熱や疼痛に往診を依頼したが、病院を受診するように指示された」、「自宅で看取ること決めていたのに、ケアチームからは病院に行ったほうが良いとアドバイスされた」といった声はまだまだ聞こえてきます。それぞれのケースにそれぞれの事情や考え方があったとは思いますが、満足度が低かったのは確かかもしれません。

それでは患者の満足度だけが、在宅医療の質なのでしょうか？

これも考えさせられる問題です。必要な医学的、倫理的判断や適切な

医療の提供がなされていなくとも、質が高いといえるのでしょうか。説明と話し合いの結果、家で看取りたいとの意思を受け、苦痛を緩和する医療を行い、最期を看取ること、これは決して質の低い医療ではありません。しかし、病態を認識せず、苦痛へのケアも行わず、老衰だから仕方のないことと看取りのみを行っていたとすれば、医学的判断に課題があるのは確かです。また逆に、入院が必要と判断し、本人や家族の気持ちを顧みることなく入院させたとすれば、これも倫理的に質が低いといえるのかもしれませんが。

他の職種からも考えてみましょう。

在宅ケアチームとして質が高くなるような試みとは何でしょうか。地域で患者のために多職種のケアチームが一丸となって提供できる在宅ケアとは、どういったものであるべきなのでしょう。介護保険導入後、もうすぐ20年の節目を前に、今日はこんなことを皆で語り合う日にしたいと思います。

ご注意事項

本会へのご参加には、事前申込みが必要となります。お申込み確認後に参加票を返送いたします。



FAX

FAXでのお申込みは下記参加申込書にご記入の上、お送りください。

03 3235 7330 切り取らずにそのまま送信ください。



WEB

WEBでのお申込みは下記QRコードからお申込みフォームへアクセスしてください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/dd4ee404633457>



第10回 東京都在宅医療推進フォーラム 参加申込書

【宛先】第10回 東京都在宅医療推進フォーラム 実行委員会事務局 行

お名前	フリガナ	性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
職種				
ご所属機関名				
ご住所	〒	—		
電話番号		FAX番号		
メールアドレス				